

# 令和8年度造林意欲増進事業の実施について

## 第1 趣旨

着実な再造林を進め人工林資源の保続に貢献し、森林資源の循環利用を推進するため、木材等生産林の区域において長期間放置されている造林未済地で再造林に取り組む意欲のある林業事業体に対し地存えにおける掛増しとなる経費を助成し、林業事業体による造林未済地の早期解消を促進する。

## 第2 事業の内容

### 1 助成対象

林業事業体が主体となって森林所有者に働きかけて再造林を行う造林未済地で、次の(1)～(4)のすべてに該当する森林であること。

- (1) 令和2年(2020年)3月31日以前に伐採が終了した人工林伐採跡地で、令和8年4月1日現在、再造林又は天然更新がされていない森林
- (2) 市町村森林整備計画に定める森林の区分が木材等生産林
- (3) 森林面積が1申請当たり1ha以上
- (4) 次のア又はイに該当する森林

ア 個人が所有する森林

イ 個人が所有する森林を造林未済地解消のため林業事業体等(ただし、市町村、大企業(中小企業基本法第2条に該当しないもの)を除く)が購入して植栽する森林

### 2 助成対象者

助成対象者は、上記助成対象の森林の所有者又は当該所有者から造林事業を受託した者とする。

造林事業を受託した者とは、所有者と受委託契約(造林事業委託契約又は森林経営委託契約)を締結したものに限るものとし、森林組合又は造林事業体が請負者として所有者と締結した請負契約は、受委託契約に該当しない。

### 3 助成内容

森林環境保全整備事業実施要領(平成14年3月29日付け13林整整第385号林野庁長官通知)、森林環境保全整備事業実施要領の運用(平成14年12月26日付け14林整整第580号林野庁森林整備部整備課長通知)及び造林補助事業の実施について(平成12年5月31日付け森整第645号)で定める要件等を満たし、森林経営計画に基づき助成対象地での植栽又は準備地存えに当たって機械地存えを実施した場合に、機械地存えに要した人工数を作業日報及び労務出役簿により把握し、別紙「機械地存えに係る標準的な人工数」を超過した分について、1人工(1人8時間の労働)当たり22千円を予算の範囲内で助成する。

なお、ha当たり3人工(66千円)を上限とし、要望額が予算額を超えた場合は、3人工(66千円)を下回ることがある。

## 第3 要望調査

### 1 要望方法

助成の申請をしようとする者は、第1号様式「造林意欲増進事業 要望調査票」に次に掲げる書類を添えて、4月30日までに提出するものとする。

- (1) 森林経営計画書(写)

森林法第11条に基づき作成し、市町村長等が認定したものであって、当該植栽が計画されている箇所の写とする。

- (2) 森林計画図

植栽を予定している林小班を含む森林計画図(1/5,000)とする。

### 2 要望調査票等の提出先

人工林資源保続支援基金事務局(北海道森林組合連合会内)

### 3 採択結果の通知

基金は、要望調査票等の提出があった場合、予算の範囲内で事業実施の採択を行い、別記2号様式「造林意欲増進事業採択結果通知」により、結果を事業実施者へ通知する。

### 4 その他

- (1) 採択後の事業箇所の変更は認めない。
- (2) 事業内容を確認するため、追加で資料を求めることがある。

## 第4 申請方法及び提出先

### 1 申請方法

助成の申請をしようとする者は、事業の終了後、第3号様式「交付申請書」に次に掲げる書類を添えて、令和9年2月28日までに申請するものとする。

- (1) 第4号様式「造林意欲増進事業実施報告書」
- (2) 森林計画図  
植栽又は準備地抔えを予定している林小班を含む森林計画図（1/5,000）とする。
- (3) 実測図（写）  
造林事業補助金交付要綱（平成25年5月29日付け森整第291号）第4に定められた補助金交付申請時に添付し、総合振興局又は振興局（以下、「総合振興局等」という。）に提出したものの写しとする。
- (4) 現況写真  
現況写真は、事業施工の状況を撮影したものとし、機械が稼働している写真、事業着手前、事業実施中及び事業完了後を撮影したものとする。
- (5) 森林経営計画書（写）  
森林法第11条に基づき作成し、市町村長等が認定したものであって、当該林分が計画されている箇所の写しとする。
- (6) 造林事業補助金等交付内訳書（写）  
造林事業に係る補助金交付申請等の取扱い（平成14年8月23日付け森整第836号北海道水産林務部森林整備課長通知）第4で定められた補助金の交付に当たって添付されたものの写しとする。なお、申請時に用意できない場合は、その旨申告の上、入手でき次第提出することとする。
- (7) 受委託契約書類（造林事業委託契約又は森林経営委託契約）（写）  
助成対象地とその所有者名が契約内容に明記されているものとする。
- (8) 第5号様式「作業報告書」  
事業を請負により実施した場合は、事業引渡書（写）及び請負業者に対する監督日誌（写）を添付すること。

### 2 申請書等の提出先

人工林資源保続支援基金事務局（北海道森林組合連合会内）

## 第5 検査

基金は、第4の申請があった場合は、造林補助金が交付されていることを確認した上で、申請内容に基づき書類検査を行うものとし、必要に応じ現地検査を行うことができるものとする。

## 第6 助成条件

- 1 森林環境保全整備事業実施要領、同運用及びその他道の通知等を遵守すること。
- 2 事業内容が準備地抔えの場合は、当該箇所の植栽終了後、植栽に係る造林事業補助金等交付内訳書（写）を提出すること。
- 3 その他、上記通知等に特段の定めのない事項については、基金事務局と相談すること。

第1号様式

造林意欲増進事業 要望調査票

項目		要望内容			
助成対象者名					
森林所有者名（林業事業体等の場合、旧所有者、取得年月を記入）		（旧所有者 取得 年 月）			
事業内容		植栽 ・ 準備地拵え			
事業箇所		市町村名： 林小班： 林班 小班			
事業面積（予定）		h a			
植栽樹種・本数（予定）		樹種： 本数： 本			
事業開始予定時期		年 月			
伐採完了年月日		年 月 日			
地拵え区分 （※該当区分に○）	機械 地拵	設計	傾斜	耕耘	手刈補正
		全刈 筋刈 その他	平坦地（斜度10°以下） 傾斜地（斜度10°超）	有 無	有 無
経営計画作成（変更）時期（予定）		令和 年 月			
添付書類		森林経営計画書（写）			

※1 要望額が予算額を超えた場合は、予算の範囲内に調整して、助成します。

2 実績面積が要望面積を超えた場合は、予定面積の1割増を上限に助成し、減少した場合は、実績面積で助成します。

3 採択後の事業箇所の変更は認めません。

造林意欲増進事業 採択結果通知

令和 年（ 年） 月 日

様

人工林資源保続支援基金  
代表 根布谷 禎一

令和 年度造林意欲増進事業の採択結果について（通知）

先に助成の要望があった「造林意欲増進事業 要望調査票」について、内容を審査した結果、（採択・不採択）とします。

（なお、要望額が予算額を超えたため、助成見込金額を減額しています。）

事業名称	事業箇所	事業面積	助成金額（概算）
造林意欲増進事業	林班 小班	ha	円

※ 1 上記の助成金額（概算）は、要望調査票に記載の事業面積（要望面積）に、ha あたり標準人工数に対する掛かり増し人工数の上限（3人工）と、1人工あたり〇〇千円を乗じて算出した目安の金額です。実際に支払う助成金については、実測した事業面積（実績面積）に、ha あたり実績人工数からha あたり標準人工数を差し引いた人工数（上限3人工）と、1人工あたり〇〇千円を乗じた額とします。

なお、実績面積が要望面積を超えた場合は、要望面積の1割増を上限に助成します。

2 要領に定める関係書類等を審査し、事業の履行等の確認がとれないものに対しては、支払いできない場合があります。

また、追加で資料を求めることがあります。

3 採択後の事業箇所の変更は認めません。また、事業を中止する場合は、すみやかに事務局までお知らせください。

第3号様式

造林意欲増進事業交付申請書

令和 年 月 日

人工林資源保続支援基金  
代表 根布谷 禎一 様

申請者 住所  
氏名  
電話番号

人工林伐採跡地への植栽又は準備地拵えに対する人工林資源保続支援基金による助成を希望します  
ので、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 第4号様式「造林意欲増進事業実施報告書」
- 2 森林計画図
- 3 実測図（写）
- 4 現況写真
- 5 森林経営計画書（写）
- 6 造林事業補助金等交付内訳書（写）
- 7 受委託契約書類（造林事業委託契約又は森林経営委託契約）（写）
- 8 第5号様式「作業報告書」

造林意欲増進事業実施報告書

項目	実施内容				
助成対象者名					
森林所有者名（林業事業体等の場合、旧所有者、取得年月を記入）	（旧所有者 取得 年 月）				
事業内容	植栽 ・ 準備地拵え				
事業箇所	市町村名： 林小班： 林班 小班				
事業面積	h a				
植栽樹種・本数（予定）	樹種：	本数：	本		
植栽完了年月日（予定）	年 月 日				
伐採完了年月日	年 月 日				
地拵え区分 （※該当区分に○）	機械 地拵	設計	傾斜	耕耘	手刈補正
		全刈 筋刈 その他	平坦地（斜度 10° 以下） 傾斜地（斜度 10° 超）	有 無	有 無
地拵え作業期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）				
地拵えに要した人工数	人工				
その他					

## 作業報告書

事業名 \_\_\_\_\_  
 助成対象地 \_\_\_\_\_  
 作業内容 \_\_\_\_\_  
 作業責任者 \_\_\_\_\_ 印

氏名	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	作業時間計	人工数合計	
	作業時間																																		
	作業時間																																		
	作業時間																																		
	作業時間																																		
	作業時間																																		
	作業時間																																		
	作業時間																																		
	作業時間																																		
	合計																																		

※ 1人工は、1人8時間の労働として換算する。

別紙

機械地拵えに係る標準的な人工数

(人工/ha)

区分	平坦地（斜度 10° 以下）				傾斜地（斜度 10° 超）			
	耕耘無		耕耘有		耕耘無		耕耘有	
	手刈補正 有	手刈補正 無	手刈補正 有	手刈補正 無	手刈補正 有	手刈補正 無	手刈補正 有	手刈補正 無
全刈	5	4	6	5	6	4	6	5
筋刈	3	2	3	3	3	3	4	3
その他	2	2	2	2	2	2	3	2

※1人工は1人8時間の労働として換算する。

# 事業引渡書(案)

令和 年 月 日

受取人 住所  
氏名 ④

引渡人 住所  
氏名 ④

次の事業を完了したので検査の上、本日その引渡しをし、本書2通を作成の上  
記名、捺印の上各自1通を保有する。

1 事業名

2 事業箇所

3 事業量

4 着手 令和 年 月 日

完了 令和 年 月 日

- \* 1 森林組合と森林所有者との引渡書を作成  
引渡人 ⇒ 森林組合 受取人 ⇒ 森林所有者
- \* 2 下請業者と森林組合との引渡書を作成  
引渡人 ⇒ 下請業者 受取人 ⇒ 森林組合

